



発行  
日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市粕壁東  
6丁目7-12  
電話 748-5159  
FAX 748-5179

### 「社会保障をよくする会が署名行動」

## 運動を盛り上げ、現行の保険証を残そう！

国は、2023年6月2日、  
現行の健康保険証を廃止し、  
マイナンバーカードと健康保  
険証を一体化して、マイナ保  
険証にすること等を含んだマ  
イナンバー法等一部「改正」  
法を成立させ、今年12月に現  
行の健康保険証を廃止すると  
しました。

### 国民皆保険制度が崩壊しかねない

全国保険医団体連合会は、  
マイナ保険証には大きく3つ  
の問題点があると指摘してい  
ます。

第1は、本来任意であるは

ずのマイナンバーカード取得  
が強硬的に推進され、保険証  
が廃止されれば、保険情報を  
ひも付けることが必要となり  
ます。

第2は、マイナンバーカー  
ドの取得・管理・利用が困難  
な人がいるということです。  
認知症等で申請の意思が確認  
できない人、顔認証が困難な  
人も多く、高齢者施設等では、  
マイナンバーカードや暗証番  
号を管理することは困難との  
声が上がっています。

第3は、現在は保険証の発  
行交付は保険者の義務ですが  
マイナンバーカードの取得、  
更新、保険証への利用登録は

任意であり、本人の申請が必  
要です。マイナンバーカード  
を取得していない人は「資格  
証」が発行されるといわれて  
いますが、これも申請ですの  
で、申請を忘れると「無保険  
扱い」とされます。国民の運  
動で勝ち取ってきた「いつで  
も、どこでも、だれでも」医  
療を受けられる国民皆保険制  
度を揺るがす重大な問題です。

### 春日部でも現行の保険証残す運動を広げよう

春日部でも、現行の保険証  
を残すために運動を強めよう  
と、社会保障をよくする会を  
事務局として多くの団体・市  
民と力を合わせ、月1回の駅  
頭宣伝署名に取り組むことに  
なり、10日春日部駅西口で行  
いました。9人参加し、署名  
はがき入りテッシュを配布し  
署名が33筆集まりました。

リレートークでは、「国民

皆保険の現行の保険証は全て  
の国民に交付されるもの、マ  
イナンバーカードを作らない  
人は自分で申請しろというの  
は国民皆保険制度を揺るがす  
ものです。」(民商)「多く  
の高齢女性は、暗証番号を忘  
れないか、いろいろな情報の  
ひも付けが怖いなど不安を持っ  
ています。ヨーロッパではな  
くしている国も多いです。学  
んでいきましょう」(新婦人)

「生健会でも毎月署名を集め  
ています。みんなで署名を大  
きく広げていきましょう。」  
(生健会)等の訴えがありま  
した。署名に協力してくれた  
多くの方からも「個人情報  
わかることが怖いし、今の保  
険証を残せばいいことですよ  
ね」との怒りの声が聞こえて  
きました。毎月第2水曜日、  
市内の駅で行います。運動を  
大きく広げていきましょう。

＜生活相談は日本共産党へ＞

並木としえ 737-4576 大野とし子 746-6136 今尾やすのり 761-3676 木下みえ子 734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-kasukabe.jp/>





# 能登半島地震被災者救援募金 5万1343円寄せられました

1月12日、党春日部市委員会は春日部駅西口で「能登半島地震被災者救援募金」に取り組みました。

当日は15人が参加し、松本ひろかず党市委員長（前市議会議員）、並木としえ・今尾やすのり・木下みえ子市議会議員がマイクを握り、被災地の現状や支援の必要性を訴え、51343円の

募金が寄せられました。

寄せいただいた募金は党中央委員会を通じて、直接、被災自治体の首長などに手渡します。

**停電・断水  
食糧・物資不足…**

1月1日に発生した能登半島地震は、震度6強の揺

れに見舞われ、地震から2週間経過した1月15日現在、亡くなられた方は22人、安否不明者が22人、避難している方は

1万6742人、各地で停電、断水が続き、食料や支援物資が不足している避難所も少なくありません。

## 政府対策本部に 緊急支援を要請

日本共産党は、地震発生当日に「対策本部」を立ち上げ、被災地の党議員などからオンラインで被災の現状、被災者のニーズの聞き取りを進めると同時に、全国で「被災者救援募金」に取り組んでいます。地震から10日経った1月11日には日本共産党に寄せられた救援募金4900万円を第一次分として被災自治体に届けました。

また政府現地対策本部を訪れ、被災者救援や避難所の改善など、以下の4点について緊急要望をおこないました。

①避難生活の改善、被災者支援について「災害関連死」を出さないためにあらゆる手立てをとること。

孤立集落、自主避難者（ビニールハウス、車中泊など）の実態把握と必要な支援に万全を期す

②住宅や土砂崩れの危険度判定をすみやかに実施すること。二次被害防止に万全を期すこと。

③津波や液状化の実態を早急に把握し、地域ごとのニーズに即した支援をおこなうこと。

④地盤の上昇で港が使えなくなるなどの実態を把握するとともに、漁業者を含めた地場産業の被害をつかみ、再建に向けた支援を行うこと。

引き続き、被災者救援と復旧・復興に全力で取りくみます。ご支援・ご協力を願います。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119  
1/21(日)ますだ春日部クリニック(内科系)中央4-8-12TEL606-3101 あゆみクリニック  
(小児科系)大枝400-4 TEL731-3283 梅原病院(外科系)小渕455-1 TEL752-2152  
1/28(日)みに病院(内科系)下大增新田97-1 TEL737-1212 竹田クリニック(小児科系)  
武里団地3-23-103 TEL735-4501 さだまつ眼科(外科系)谷原新田2213-1TEL731-5040